

3. 本明川の地形解説

日本の河川の多くは、長さが短い上に勾配が急です。その中でも「本明川」は特に急流ですので、川の水は一気に流れていきます。

加えて諫早市は集中豪雨が起こりやすい地形とされており、短く勾配が急な本明川に大雨が降ると、降雨は川を一気に流れ下り、勾配が緩やかになった地点で急激に上昇してしまいます。

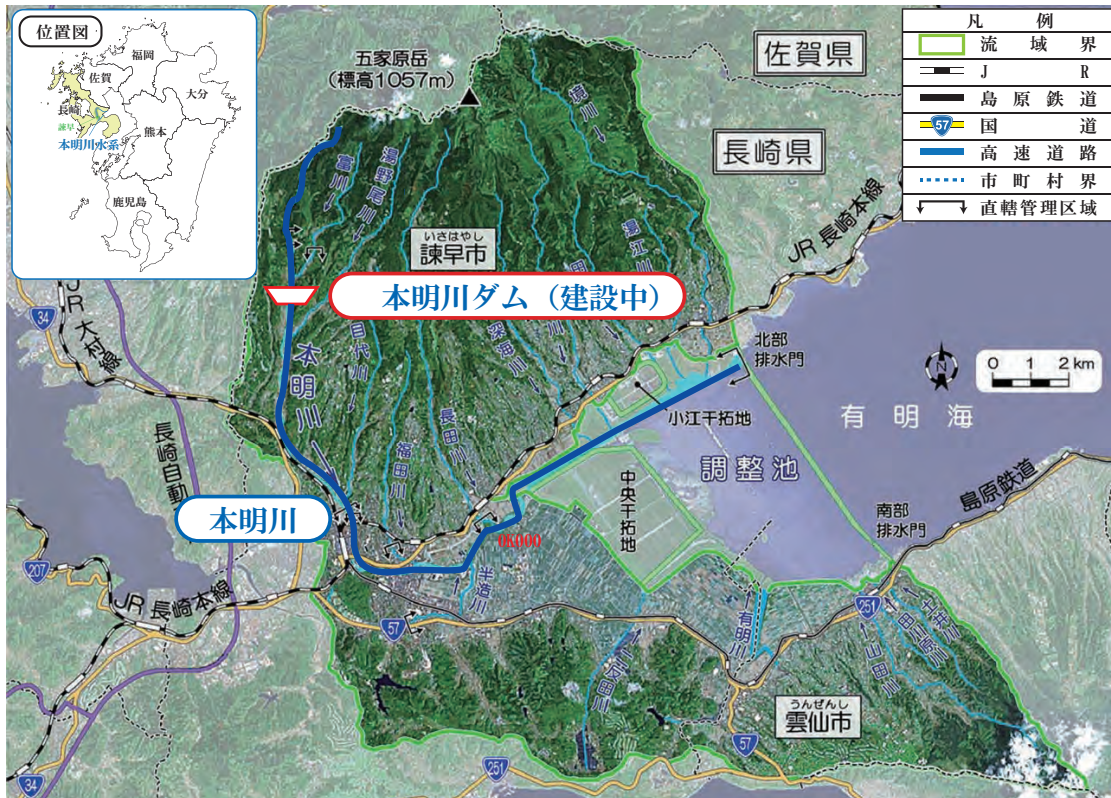
また、以下リンク先でも本明川の特徴について解説してありますので併せてご覧ください。

http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/river_dam/info/honmyo.html

本明川の地形について、パネルをご覧ください。

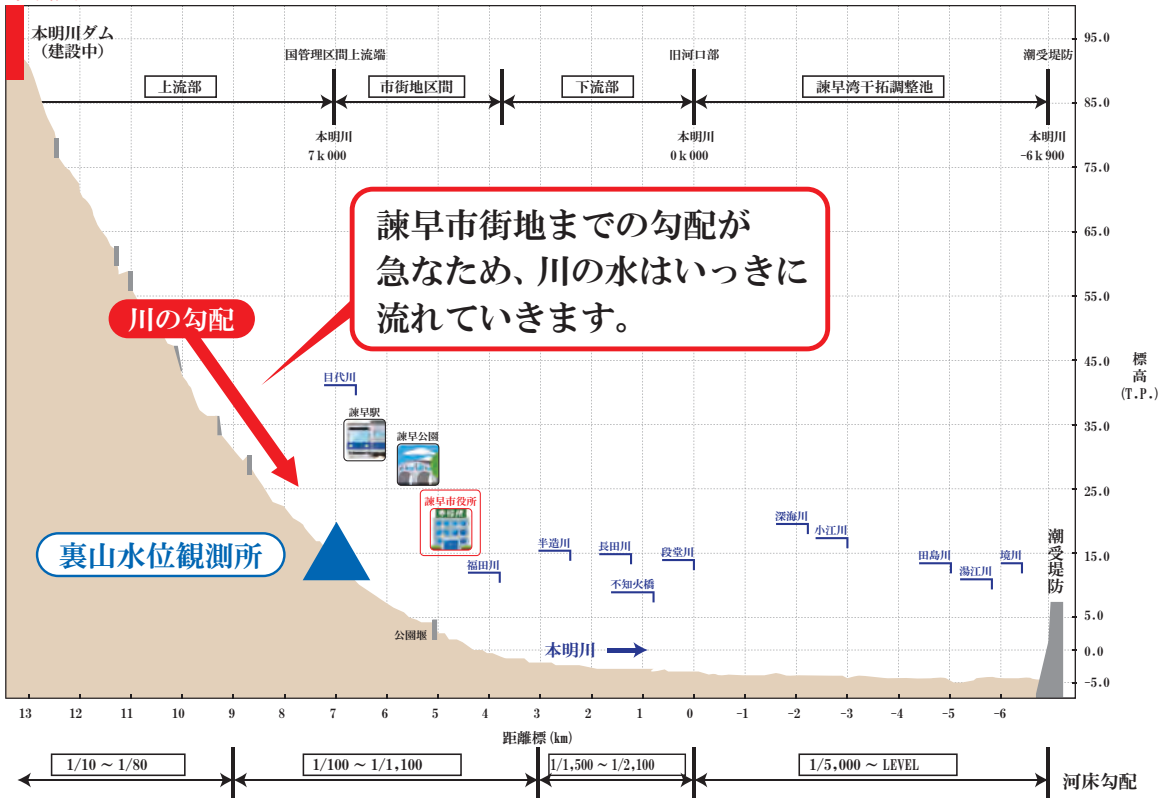
本明川は川の長さが短く、 勾配が急であるのが特徴です。

■本明川流域図



■本明川の勾配

本明川ダム



こんなことが起きます

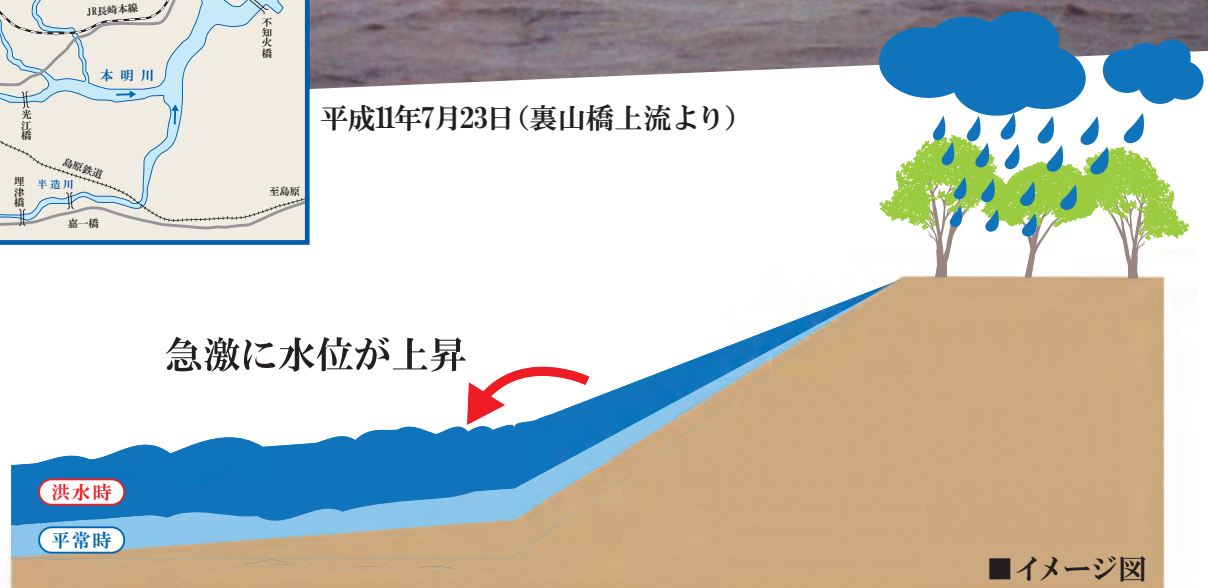
降った雨は急な勾配の川をいっきに流れ下り、
勾配が緩やかになった所*で、
急激に水位が上昇します！

*本明川では市街地部になります



裏山橋

平成11年7月23日（裏山橋上流より）



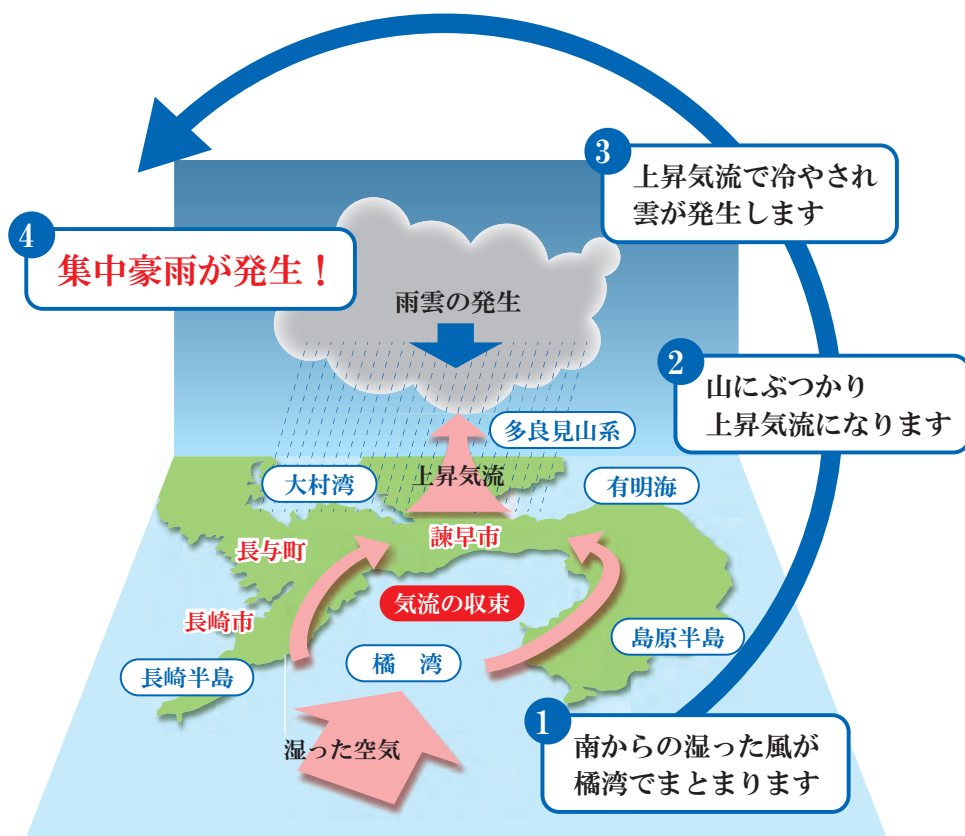
急激に水位が上昇

洪水時

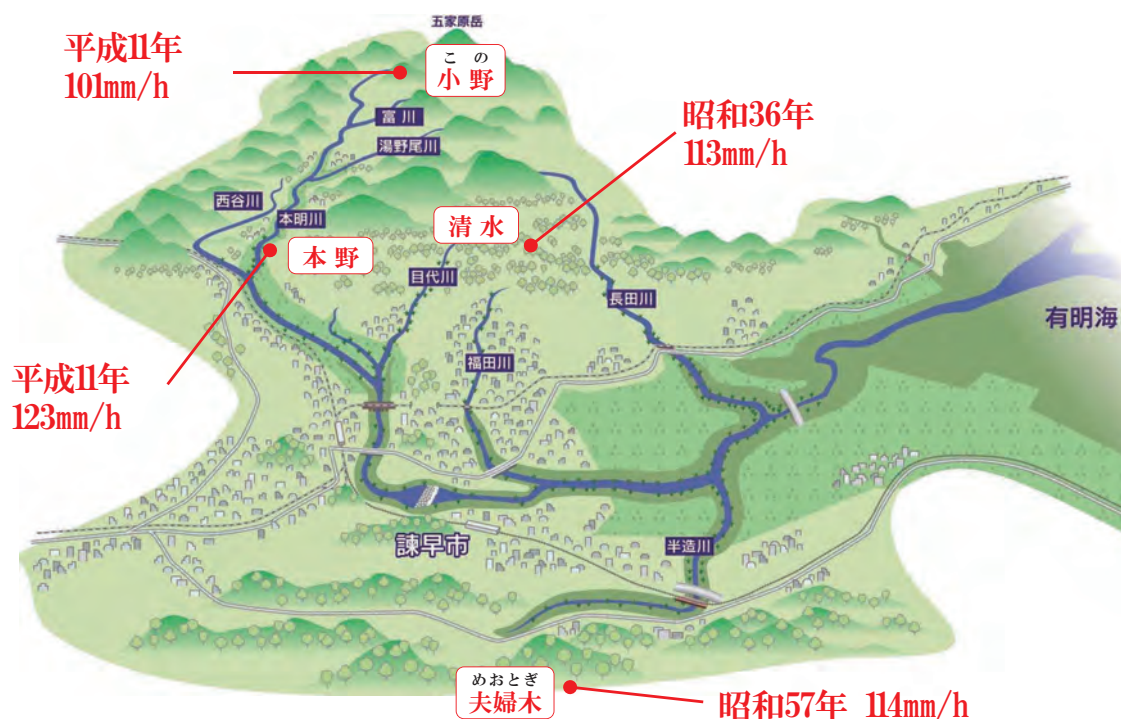
平常時

■イメージ図

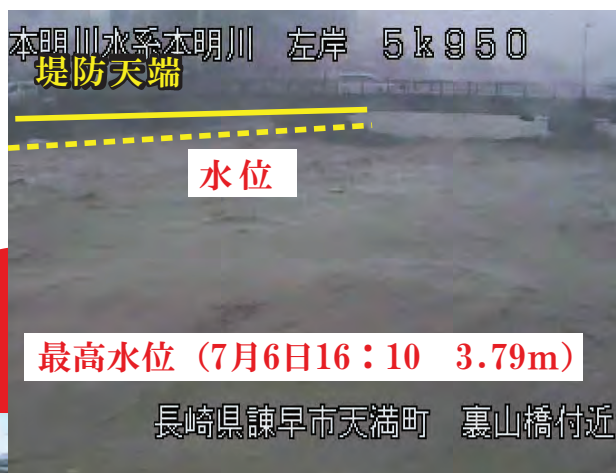
諫早は集中豪雨が起こりやすい地形と言えます。



諫早では、諫早大水害以降も1時間に100mmを超える雨量が観測されています。



急激な水位上昇！



急激な水位上昇！

「令和2年7月豪雨」では、
昭和57年以来、**38年ぶり**に
氾濫危険水位を超過しました。

